

品目別 資料 種

1

- 博物館には多くの収蔵品がある。目録情報が付与されている。電子化しデータベースとして公開されているものもある。文化財オンライン等の動向

2

- 博物館が提供する所蔵資料の情報を効果的に利用できるようにすることが望まれる。

3

- 多様性
  - 博物館(対象とする研究分野)
  - 資料
  - 利用者
    - 専門の研究者~児童生徒

4

- このため
  - 資料に付す項目が多様
  - 項目名が統一的でない
  - 記載の命名が独自、専門的
  - 検索への要求が多様

5

- 事例
  - 黒韋威肩白腹巻大袖付

6

- 図書の検索では
  - 検索対象の項目が均一で名称が確定
  - 利用目的が明確(均一)
 である点と大きく異なる。

7

- 博物館資料の効果的な横断検索を実現するためには以下が必要
  - 項目の統一
  - 命名法の統一
  - 非専門語による検索
  - 情報間の関連づけ

8

- しかし
  - 既に構築されたDBの変更は非現実的
  - 情報付与の視点の統一はあり得ない
  - 博覧間をまたがる関連づけが必要

55

9

• 3階層のフレームワーク

- 記述構造レベルは\*\*\*
- 記述内容レベルは\*\*\*
- ナビゲーションレベルは\*\*\*

10

• 利用者の多様性との関係

- 記述構造      - 一般、初学者、専門家
- 記述内容      - 一般、初学者
- ナビゲーション - 一般

11

• 実現性ある役割分担と実装の枠組み

- 情報の記述
- 情報の交換
- 情報同士の関連付け

12

• 博物館メタデータの現状

• 統合検索の研究状況

13

• 枠組みを提案し、プロトタイプ?により実現性を検証する。